

事例報告書作成方法

1. 提出事例数 = 1 例
2. 分量 = 2,000字程度(ただし写真、図表を除く) A4用紙1~2枚
3. 項目

1) タイトル・必要に応じてサブタイトル

自分が大切だと思うキーワードをタイトルに入れてください。

例えば、「多動傾向のあるAくんに対するコミュニケーション支援」

2) 対象事例

匿名で個人情報特定されないように配慮し、かつ必要な情報を入れます。
報告の目的によって、以下の中から必要な情報を書きます。

- 支援の実施期間、実施機関(いつ、どこで)
- 対象の子どもについて…年齢・性別・性格・診断名など
- 家族について…家族構成、母親の状況、父親の状況、その他の家族の関係など
- 環境について…保育園・幼稚園・学校などの状況
- アセスメント…発達検査の結果や行動観察の記録
- 総合所見…得意なこと・不得意なこと、能力や発達の偏り、「困っている行動」、環境面での課題などについての自らの所見

3) 支援者の立場と支援方法

- 支援者の立場…自身の立場と役割を明記する
- 支援の方法…感覚・行動面の支援、自尊感情を高める支援、コミュニケーション力を伸ばす支援、集団適応の視点からの支援、生活面での支援、学習面での支援など、自ら取り組んだ支援の方法について
- 支援環境の調整…構造化などの物理的環境調整、及び人との連携、機関との連携などの人的環境の調整

4) 経過と結果

- 時間の経過とともに、記録に基づいて記述
- 支援の方法や場面に応じて具体的に記述

5) 考察および今後の課題

- 支援の振り返り
- 今後の課題の明確化

